

向日葵を買って

峰尾大介

自宅を夜8時過ぎに出て夜どうし走り大橋についたのは早朝であった。「お疲れ様、徹夜でしょ。早く仮眠して後から来てよ」と先発隊。その言葉ありきたりく頂戴します。20畳の広間に開け放った窓から三疊の海風が通り抜けている。座布団を二つ折りにしてコロリとしたかと思うと落とされるように寝てしまった。大袈裟でなく人生最良の昼寝感だった。

起きると11時。「そろそろ行こう」外に出ると日差しは真夏。今回の会場は弓道場。駐車場に降り立つと中から弦楽器の音がしてくる。中へ入ると即席美術回廊。アートが生音と混ぜり合っている不思議な空間にしばく漂ってしまった。

いつの間にか弓道場土間の中央に4人の弦楽奏者、それを取り囲むように折り畳み椅子が並べられ、すでに30人くらいの人が座っている。私は彼らの後ろに回り込み彼ら越しにお客さんを眺めた。普段着でエプロンだけとってきたオバさんや、仕事を中座してきたようなオジサン達がすでに席に着いている。ハイオリ

苗部雄作展

2013年10月1日(火)～13日(日)

11:00～19:00(最終日～17:00)

月曜休館

Exhibition ARIO

11月2日(土)～10日(日)

11:00～19:00(最終日～17:00)

月曜休館

レジデンスで制作した作品を展示します。

アーティストインレジデンス開催のため、

10月14日(月)～11月1日(金)まで

休館いたします。

第2回「アーティスト・インレジデンス」協賛のお願い

標記のプロジェクト推進のため、下記のご支援をいただければ幸いです。資金面以外のご協力もよろしく申し上げます。

- ・個人協賛金 一口 5,000円(5,000円以下でも歓迎です)
- ・企業団体協賛金 一口 50,000円

ご支援いただける方は下記の口座にお振込をお願いします。

① みずほ銀行 小田原支店 普通口座 2898291
口座名義 西湘地区アーティスト インレジデンス

② さがみ信用金庫 富水支店 普通口座 0872410
口座名義 西湘地区アーティスト インレジデンス

otni 会費員

ソンの女性の合図でコンサートが始まった。一音目ゾクゾクとする。観客を眺め、直ぐに天井を眺めた。期待などしていないかたんに涙がこぼれそうになつたからだ。天井がとても高く音が降り注いでくる。そして音ととも違う何かが増えている。それが私に泣けという。曲は私でも知っている有名なもの。少し滲んで消える涙。生音とは罪である。

真夏の弓道場はすべての窓やドアが開け放たれている。川風や、近くを通るバイクの音、運動場で練習する野球の音が聞こえる。それが音楽と混ぜりとも不思議で優しい響きになる。コンサートホールのように隔離された場所では決して味わえない感覚にやられてしまった。

よし飽きてきた女の子を控え室に誘った。「おやつでも食べよう」「何飲む?」「何があるの?」「これ食べる?」買ってきたドーナツボールを出した。物置い勢いで食べた。「そんなに食たらウチに帰って夕飯食べられなくなるよ」「平気だよ」「お母さんに怒られるでしょう。」「お母さん、津波で死んじゃったんだよ。本当だよ。」「……」不意打ちを食った。思っきり足をすくわれて必死に次の言葉を探す。いい言葉が出てこない。「じゃあ誰かご飯をつくるの?」「お父さんがおばあちゃん」「兄弟はいるの?」「弟がいるよ」「じゃああなたが手伝わないと駄目だね。えらいじゃん」「トットローット一口」急に歌いだす。もれ聞こえるコンサートの音にあわせて。「トロトロきなんだ」

やがてコンサートも終わり、おばあちゃんと痛る彼女らを見送った。「お母さん津波で死んじゃった」の内容と声のトーンの軽さのギャップ。まるで日常。彼女らにとっては生も死も日常なのだ。小学校4年生で母親の死を咀嚼消化している。こんな娘が私よりしょつていて物が化。母が倒れて4年目になる私は彼女のようにな他人に話すとかが出来ているか?小学生が出来るんだもの、きっと出来る。被災地の小学生に少し勇気を買って本当に有難う。

すどう美術館友の会

AQUA クラブ入会のご案内

現代の「美」を育てること、深めることは次の世代への橋渡しとしても、とても大切なことだと考えます。

すどう美術館がその担い手として今後も活躍できるよう、友の会 AQUA クラブとして支援し、文化向上的役目を果たせる喜びを分かち合いたいと思ひます。

どうぞご協力をよろしく申し上げます。すどう美術館友の会「AQUA クラブ」会長 堀典子

年会費

一般会員 3,000円
特別会員 10,000円
法人会員 50,000円 入会随時

納入方法 ご来館時または郵便振込みでお願いします

・郵便振込み No.00270-7-97439

・加入者名 すどう美術館友の会「AQUA クラブ」

狂いそうに思ってた。こんな日は普通と一緒してるんじゃないかな、気がつけながら平気可憐いも出さず、自分の身をを守るのが精一杯でした。食欲もわかず、何を食べてもいいのかと池源正太をレシドをめぐりました。その料理を美味しく食べた。それを一切捨て、ひたすら好きなものに食べさせてあげようとして、(髪子)のあがり焼きを3つつまらせた。冷や(曹太、胡瓜、鰻の冷や(子)あがり)の冷やがけ(わたしの作)たりの冷や(真平や梅が食べたものと同じ味になつたか)どうかはわかりませんが、どれも美味しかったです。

須藤紀子

編集後記

『すどう美術館』「大塚展」の記録をまとめた。編集後記は、大塚展の記録をまとめた。編集後記は、大塚展の記録をまとめた。